

【全国学力・学習状況調査結果】

	自校	尾道市	広島県	全国
国語	73	69	66	64.7
算数	72	70	70	70.2

【市学力検査（対全国比 %）】

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生
国語	80.4(106)	81.2(99)	69.0(91)	68.4(99)	70.5(102)
算数	87.0(108)	72.9(101)	64.6(94)	70.1(104)	64.9(102)

【全国学力・学習状況調査結果（質問紙調査） 『当てはまる』 + 『どちらかといえば、当てはまる』 の%】

質問番号	質問事項	自校	尾道市	広島県	全国
33	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	66.7	75.6	77.0	78.2
37	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。	79.2	78.4	80.1	78.8

【課題】

- ・既習漢字の定着が不十分である。
- ・段落ごとのキーワードを捉えながら読むことができていない。
- ・資料を関連させて読んだり考えたりすることが難しい。（非連続テキスト）
- ・文章や図から立式し、自分の考えをまとめることが難しい。
- ・他者の説明を参考にし、意見を再構築・表現することが難しい。

【めざす姿】

- ・既習漢字を用いた熟語を適切に使うことができる児童。
- ・文中の重要な語句に注意しながら読むことができる児童。
- ・式の意味を説明したり、互いに聞き合ったりする活動を通して自分の意見を表現する児童。

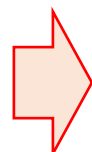


【めざす姿に向けた取組の具体（2学期）】

- ・マス計算、倍数約数のフラッシュを行い、基礎的な計算力を向上させる。
- ・計算のきまりについて、練習問題を実施するとともに、数の見方を広げる指導を行う。
- ・漢字ドリルの前倒し学習や練習プリントを実施し、定着を図る。
- ・国語の読解において根拠を考えながら読ませる指導を行うとともに、解き方などの技術面を指導する。

【検証】

単元末テストの得点率の8割以上の児童の割合が計算79%、漢字81%、思考86%であり、学力の向上が見られる。計算では、四則計算のまちがい等が見られ、漢字は前学年の漢字の定着が不十分であったため、ICTを活用したフラッシュやプリント学習を反復することが必要であると思われる。



【めざす姿に向けた取組の具体（3学期）】

- ・辞書引きタイムを活用し、ドリルや教科書に出ていない熟語に触れさせ、児童の語彙を増やす。
- ・説明文における重要な語句を示したり、探させたりする指導の実施。（要約、論議図などの活用）
- ・類似問題を解かせ、児童に解き方を把握させる。
- ・立式理由を説明させたり、互いに聞き合ったりさせる。
- ・教科書の説明に付け足したり、伝え合わせたりさせることで考えを他者に表現する場を設定する。

【検証】

学力調査等の結果により、概ね全国平均値と同等の結果が出ている。国語科では、資料を関連させて読むことや段落を意識して読むことが苦手であった。算数科では、他者の説明を活用して、考えを表現することが苦手であった。

